

## 館山ステーション（坂田）実績

### 1. 各種実習

#### (1) 学内

生物生産学実習

応用藻類実習

臨海実習

集団生物学実習

動物生態学実習

環境テクノロジー実習

漁業科学実習

海洋政策文化学科フレッシュマンセミナー

海洋生物資源学科フレッシュマンセミナー

潜水実習

マリンスポーツ実習

水圏環境リテラシー実習

#### (2) 学外

千葉大学教育学部

玉川大学農学部

海づくり協会

### 2. 研究活動

#### (1) 本ステーションを利用する教員とその研究課題

秋山清二： 館山湾の漁業技術に関する研究.

荒川久幸：サンゴモニタリングシステムの開発に関する研究

今田千秋：館山湾からの有用微生物の分離

須之部友基： 館山湾における魚類の繁殖生態に関する研究

瀬川 進： 軟体動物の生活史と生理生態

土屋光太郎： 館山湾周辺海域の貝類相

田中次郎： 海産多細胞藻類の分類と生態

鈴木秀和： 海産付着珪藻類の分類と生態

浜崎活幸： 小型甲殻類の年齢査定と生活史に関する研究

カルロス・ストルスマン： 魚類配偶子・受精卵の生物学と凍結保存

カルロス・ストルスマン： イセエビフィロゾーマ幼生の栄養摂取機構の解明

横田賢史： 潮間帯生物の多様性と生息環境の関係

藤田大介： 藻場と磯焼けに関する研究

竹内裕：海産魚における代理親魚養殖技術の実用化に向けた生殖細胞移植法の開発

吉崎悟朗：海産魚における脂肪酸代謝改変遺伝子組み換え魚の作出

(2) 卒業論文・修士学位論文・博士学位論文. 括弧内は指導教員名.

● 平成 20 年度卒業論文

中川優史：館山湾と横浜港で採集された巨大アナゴに関する研究. (秋山清二)

伊藤未来：海底堆積粒子の量および粒径が褐藻類アラメの遊走子着生と配偶体の生長・生残へ及ぼす影響. (荒川久幸)

廣瀬亜久里：透明度と見かけのコントラストとの関係. (荒川久幸)

高山朋弥：ベラ科ホンベラ *Halichoeres tenuispinis* の仔魚の育成および幼魚の社会行動に関する研究. (須之部友基)

桐生美怜：アオウミウシ *Hypselodoris festiva* の食性に関する研究 (土屋光太郎)

葛西直子：館山湾坂田沖における二枚貝類の分布生態について (土屋光太郎)

岡元悠太：褐藻カヤモノリ目, イシゲ目数種の形態. (田中次郎)

越智和正：海藻付着性紅藻ヒメゴケ属 2 種の形態. (田中次郎)

土岐高史：海藻付着小型褐藻クロガシラ属, ナミマクラ属の形態. (田中次郎)

三宅友香：紅藻ユカリ属マキユカリ, ユカリ, ヒメユカリの生殖器官の形態. (田中次郎)

高橋侑子：海産付着珪藻 *Gomphonemopsis* 属 2 種の形態. (鈴木秀和)

陽 詩織：管状群体を形成する海産珪藻 *Berkeleya* 属 2 種の形態. (鈴木秀和)

石井美奈子：イソカニダマシの生活史に関する研究 (浜崎活幸)

川下貴史：スベスベマンジュウガニが保有する毒の生態学的意義に関する研究 (渡邊精一)

岩崎翔平：千葉県館山市沖ノ島の磯焼け域と藻場回復域に出現した海藻の季節的消長 (藤田大介)

岩館教博：千葉県館山市沖ノ島における紅藻ミリンの海中養殖に関する研究 (藤田大介)

小林美樹：黄化したミリンの体色改善に関する研究 (藤田大介)

横田 淳：館山市坂田地先におけるヒジキの食害に関する研究 (藤田大介)

壁谷尚樹：全身が緑色蛍光タンパク質により標識された遺伝子導入ニベの系統化およびその解析 (竹内裕・吉崎悟朗)

● 平成 20 年度修士学位論文

長沼美和子：千葉県館山湾におけるアイゴ *Siganus fuscescens* の資源生態に関する研究. (秋山清二)

土屋実穂：テングサ海藻礁の開発に関する研究. (荒川久幸)

春成円十朗：海洋生物からの放線菌の分離とヒアルロニダーゼインヒビター生産菌の探索. (今田千秋)

高原 涼：異なる環境下に生育するピリヒバ *Corallina pilulifera* の生理生態に関する

比較研究. (田中次郎)

石井織葉： 日本産羽状珪藻 *Pinnularia* 属および *Caloneis* 属の分類学的研究. (田中次郎)

小山敬一郎： 館山湾におけるイワガニに対するフクロムシ類の寄生に関する研究 (渡邊精一)

加藤勝： 房総半島における外来付着動物群集の分布に関する研究 (渡邊精一)

渡邊隆司： Lipofuscin を使用したオウギガニの年齢推定と成長に関する研究 (渡邊精一)

貞松大樹： 葉状部が損傷した褐藻アラメの再生に関する研究 (藤田大介)

山田蘭： 千葉県館山市沖ノ島周辺の磯焼け状パッチにおける回復藻場の生態学的研究 (藤田大介)

樋口健太郎： 海産魚における代理親魚養殖を目指した精原細胞移植技術の開発. (竹内裕・吉崎悟朗)

● 平成 20 年度博士学位論文

宇佐美 葉 本州中部域における淡水性エビ類の生物地理学的研究 (渡邊精一)

● 平成 21 年度卒業論文

岸本昭臣： 筒漁具に対するマアナゴの行動に関する研究. (秋山清二)

山口哲弘： 東京湾におけるクロアナゴとダイナンアナゴの資源生態に関する研究. (秋山清二)

伊藤 遼： 光環境制御によるアワビ・ワカメ複合養殖に関する研究. (荒川久幸)

境田沙知子： コチ科セレベスゴチの婚姻システムと雄性先熟性転換. (須之部友基)

渡井幹雄： 館山湾におけるベラ科魚類 4 種の繁殖行動と潮汐周期. (須之部友基)

山本雅道： 沿岸性八腕類の摂餌日周期に関する研究 (瀬川 進)

鈴木亜須賀： 囊舌目ウミウシ 2 種の光合成特性について (土屋光太郎)

中江庸介： ハナイカの摂餌行動について (瀬川 進)

曳地 遼： イイダコの図形学習についての研究 (瀬川 進)

西谷奈名美： 千葉県館山湾坂田における褐藻ホンダワラ類の季節消長. (田中次郎)

小澤拓也： 海産付着珪藻 *Mastogloia* 属 5 種の形態と分類. (鈴木秀和)

山岡未季： 砂地に生育する海産珪藻 *ダエンケイソウ* 属 *Cocconeioopsis* 2 種の形態. (鈴木秀和)

井上拓郎： イソカニダマシの年齢査定に関する研究 (浜崎活幸)

藤原一恵 紅藻フサノリの培養に関する研究 (藤田大介)

渡辺梨里 アマモに着生するモカサ属 1 種の培養と生態に関する研究 (藤田大介)

岩田岳： 海産魚における同種間精原細胞移植技術の開発 ~3 倍体不妊化宿主を利用したドナー由来次世代個体の作出~. (竹内裕・吉崎悟朗)

● 平成 21 年度修士学位論文

- 清水庄太： 館山湾に生息するオハグロベラ雄の繁殖行動の多様性に関する研究. (須之部 友基)
- 井上優紀： オリイレヨフバイ科貝類の分類再検討について (土屋光太郎)
- 後藤ラムセス： 海藻に付着する小型海藻の形態学的研究. (田中次郎)
- 中本鉄平： 紅藻綱テングサ目テングサ科藻類の初期発生における形態学的研究. (田中次郎)
- 福尾 幸宏： 館山周辺におけるオキエソの成長 (横田賢史)
- 細矢玲奈： 千葉県沖ノ島沖に設置した人工基質上に着生する海藻の遷移と植食動物の影響 (藤田大介)

● 平成21年度博士学位論文

- ソイレメス・サメット・ジャン： Uptake of dissolved free amino acids from sea water by Japanese spiny lobster, *Panulirus japonicus* phyllosoma larvae (イセエビフィロソーマ幼生における溶解アミノ酸の吸収機構に関する研究) (カルロス・ストルスマン)

(3) 学術論文

平成 20 年度

- Kaifu, K., T. Akamatsu and S. Segawa (2008) Underwater sound detection by cephalopod statocyst. *Fisheries Science* 74, 781-786
- Faruq C.A., S. Segawa, M. Yokota, S. Watanabe (2008) Effect of light on oxygen consumption and ammonia excretion in *Haliotis discus discus*, *H. gigantea*, *H. madaka* and their hybrids. *Aquaculture* 279, 160-165
- Murase, A. and T. Sunobe (2009) Notes on territory structure in the herbivorous, intertidal blenny *Istiblennius enosimae* (Pisces, Blennidae). *Biogeography* 11: 33-39
- Sato, S., Mann, D. G., Nagumo, T., Tanaka, J., Tadano, T. & Medlin, L. K. (2008) Auxospore fine structure and variation in modes of cell size changes in *Grammatophora marina* (Bacillariophyta). *Phycologia* 47: 12-27.
- Sun, Z., Hasegawa, K. & Tanaka, J. (2008) Reproductive structures of three *Padina* species (Dictyotales, Phaeophyceae) from Japan. *The Journal of Japanese Botany* 83: 67-76.
- Suzuki, H., Nagumo, T. & Tanaka, J. (2008) Morphology and taxonomy of *Cocconeis*

- subtilissima* Meister (Bacillariophyceae) and two closely related taxa from the coastal waters of Japan. The Journal of Japanese Botany 83: 269-279.
- F. Ahmed, Y. Koike, C.A. Strussmann, I. Yamasaki, M. Yokota, and S. Watanabe. (2008) Genetic characterization and gonad development of artificially produced interspecific hybrids of the abalones, *H. discus discus*, *H. gigantea* and *H. madaka*. Aquaculture Research 39:532-541.
- T.T. Lwin, W. Doi, M. Yokota, C.A. Strussmann, and S. Watanabe(2008) Juvenile morphology of the xanthid crab *Leptodius exaratus* (H. Milne-Edwards, 1834) (Decapoda: Brachyura), with notes on the appearance of sexual dimorphism. Invertebrate Development and Reproduction 50:191-201.
- Sk.M. Rahman, S.K. Majhi, T. Suzuki, C.A. Strussmann, and R. Takai(2008) Effect of calcium chloride on the permeation of the cryoprotectant dimethyl sulfoxide to Japanese whiting *Sillago japonica* embryos. Transactions of the Japan Society of Refrigerating and Air Conditioning Engineers 25:271-277.
- Sk. M. Rahman, S.K. Majhi, T. Suzuki, S. Matsukawa, C.A. Strussmann, and R. Takai (2008) Suitability of cryoprotectants and impregnation protocols for embryos of Japanese whiting *Sillago japonica*. Cryobiology 57:170-174.
- W. Doi, M. Yokota, C.A. Strussmann, and Seiichi Watanab(2008) Growth and reproduction of the portunid crab *Charybdis bimaclata* (Decapoda: Brachyura) in Tokyo Bay. Journal of Crustacean Biology 28:641-651.
- Okutsu T, Takeuchi Y, Yoshizaki G. Spermatogonial Transplantation in Fish: Production of trout offspring from salmon parents. In: Tsukamoto K, Kawamura T, Takeuchi T, Beard TD, Kaiser M (eds), Fisheries for global welfare and environment, 5th World Fisheries Congress 2008. Tokyo: TERRAPUB; 2008: 209-219.
- Nagasawa K, Takeuchi Y, Miwa M, Higuchi K, Morita T, Mitsuboshi T, Miyaki K, Kadomura K, Yoshizaki G. cDNA cloning and expression analysis of vasa-like gene in pacific bluefin tuna *Thunnus orientalis*. Fish Sci 2008: 75; 71-79.
- 奥津智之・小林輝正・竹内裕・吉崎悟朗. 異種間生殖細胞移植実験における *vasa* 遺伝子の種特異的プライマーを利用したドナー由来生殖細胞および精子の検出法. 水産育種 2008: 37; 29-36.
- 吉崎悟朗・竹内裕・奥津智之. ニジマスしか生まないヤマメの作出-サケ科魚類の遺伝子資源の保全を目指して-. 生物の科学「遺伝」2008: 62(2), 2-3.

平成 21 年度

秋山清二・長沼美和子・片山知史(2009) 千葉県館山湾におけるアイゴの生活年周期. 水産

工学, 46, 107-115

片山知史・秋山清二・長沼美和子・柴田玲奈(2009) 千葉県館山湾におけるアイゴ *Siganus fuscescens* の年齢と成長. 水産増殖, 57, 417-422

土屋美穂・滝尾健二・安藤和人・川辺勝俊・駒澤一朗・荒川久幸 (2009) マクサの栄養体の付着に適した基質、日本水産学会誌、75(6)、1051-1060

Sato, S, Nagumo, T. & Tanaka, J. Chain colony formation of marine araphid diatom *Grammatophora marina* (Lyngbye) Kutzing: relationship between chain shape and apical spine. The Journal of Japanese Botany 84: 106-112

鈴木秀和・花井孝之・南雲 保・田中次郎. 海産底生珪藻 *Nitzschia amabilis* Hide. Suzuki (珪藻綱)の形態. 植物研究雑誌 84: 273-278.

J. Shinji, C.A. Strussmann, M.N. Wilder, and S. Watanabe(2009) Short-term responses of the adults of the invasive crab *Hemigrapsus takanoi* (Decapoda: Brachyura: Grapsoidea) at different salinities: osmoregulation, oxygen consumption, and ammonia excretion. Journal of Crustacean Biology 29:269-272.

J.C. Rodriguez Souza, C.A. Strussmann, F. Takashima, H. Satoh, S. Sekine, Y. Shima, and H. Matsuda. 2010. Oral and integumental uptake of free exogenous glycine by the Japanese spiny lobster *Panulirus japonicus* (Von Siebold, 1824) phyllosoma larvae. Journal of Experimental Biology (in press).

S.C. Soylemez, K. Murakami, C.A. Strussmann, M. Yokota, and S. Watanabe. 2010. Uptake of dissolved free amino acids by spiny lobster *Panulirus japonicus* phyllosoma larvae. Fisheries Science (in press)

Takeuchi Y, Higuchi K, Yatabe T, Miwa M, Yoshizaki G. Development of spermatogonial cell transplantation in Nibe croaker, *Nibea mitsukurii* (Perciformes, Sciaenidae). Biol Reprod 2009: 81; 1055-1063.

竹内裕・樋口健太郎・吉崎悟朗. 海産魚の種苗生産効率化を目指した精原細胞移植技術の利用. 海洋深層水研究 2009: 10; 49-53.

吉崎悟朗・奥津智之・竹内裕. 生殖細胞の異種間移植による代理親魚養殖技術の実用化. テクノイノベーション 2009: 18; 42-46.

竹内裕. III-4. 水産増養殖への応用 -発生生物学的アプローチによる生殖細胞のコントロール-. 日本水産学会誌 2009: 75(5); 876-877.

#### (4) 口頭発表、ポスター発表

平成 20 年度

土屋実穂、荒川久幸、滝尾健二. テングサ海藻礁/開発に関する研究 世界水産学会議  
春成円十朗・今田千秋・小林武志・濱田(佐藤)奈保子: 海洋底生生物からの放線菌の分離

- と群集組成解析. 日本水産学会
- 春成円十朗・今田千秋・小林武志・濱田(佐藤)奈保子: 海洋生物からの放線菌の分離とヒアルロニダーゼインヒビター生産菌の探索. マリンバイオテクノロジー学会
- 春成円十朗・今田千秋・小林武志・濱田(佐藤)奈保子: ナマコ消化器官内堆積物とその生息海域の放線菌の相違. マリンバイオテクノロジー学会
- 春成円十朗・今田千秋・小林武志・濱田(佐藤)奈保子: 平板分離法と PCR-DGGE 法を用いたナマコ消化管内の放線菌の解析. 日本放線菌学会
- 海老澤慎一、土屋光太郎、瀬川進: イイダコのアサリに対する捕食行動と酸素消費量. 日本貝類学会
- 松本純、土屋光太郎、瀬川進: 館山湾岩礁域におけるアマオブネガイの分布生態. 日本貝類学会
- 豊田克也・櫻井真・真鍋尚也・四宮明彦・須之部友基: コクテンベンケイハゼの双方向性転換と生殖腺構造. 2008 年度日本魚類学会年会
- 清水庄太・村瀬敦宣・高山朋弥・益子正和・須之部友基: 館山湾に生息するベラ科オハグロベラ *Pteragogus aurigarius* の配偶システム. 2008 年度日本魚類学会年会
- 村瀬敦宣・須之部友基: 屋久島の潮間帯岩礁域における底生魚類群集. 第 56 回日本生態学会大会
- 三石恭子・鈴木秀和・南雲 保・田中次郎: 千葉県館山市坂田に生育するアオサ藻の付着珪藻相. 日本珪藻学会第 29 回大会(東京都新宿区).
- 鈴木秀和・花井孝之・南雲 保・田中次郎: 海産底生珪藻 *Nitzschia laevis* Hustedt の形態と分類. 日本珪藻学会第 29 回大会(東京都新宿区)
- Mitsuishi, K., Utsumi, S., Noguchi, Y., Suzuki, H., Tanaka, J. and Nagumo, T. Epiphytic diatom flora on some seaweeds from Chiba Prefecture, Japan. 20th International Diatom Symposium 2008 (Dubrovnik, Croatia)
- Ishii, O., Idei, M., Suzuki, H., Nagumo, T. and Tanaka, J. Diversity on reproductive characteristics of the genera *Pinnularia* and *Caloneis*. 20th International Diatom Symposium 2008 (Dubrovnik, Croatia)
- 山崎 いづみ・W.M. Mingkid・土井 航・C.A. Strussmann・渡邊 精一 ミトコンドリア DNA RFLP 分析によるケフサイソガニと タカノケフサイソガニの判別. 日本水産学会
- I. Yamasaki, M. Yokota, C.A. Strussmann, S. Watanabe Evidence of allopatric speciation among Far East Asian mitten crabs (*Eriocheir* spp.) (Abstracts pp. 325) 5th World Fisheries Congress, Yokohama 2008 (Yokohama, Japan)
- Y. Usami, M. Yokota, C.A. Strussmann, S. Watanabe Distribution and Geographical Variation of mtDNA in Freshwater Palaemonid Shrimp, *Palaemon paucidens* (Abstracts pp. 440) 5th World Fisheries Congress, Yokohama 2008 (Yokohama, Japan)
- W. Doi, M. Yokota, C.A. Strussmann, S. Watanabe Comparative analysis of the

- reproductive investment of three dominant crab species from Tokyo Bay (Abstracts pp. 323) 5th World Fisheries Congress, Yokohama 2008 (Yokohama, Japan)
- S.C. Soylemez, K. Murakami, C.A. Strussmann, M. Yokota, S. Watanabe Uptake of dissolved nutrients from rearing medium by Japanese spiny lobster *Panulirus japonicus*: implications for larval rearing and seed production (Abstracts pp. 163) 5th World Fisheries Congress, Yokohama 2008 (Yokohama, Japan)
- S.C. Soylemez, K. Murakami, C.A. Strussmann, M. Yokota, S. Watanabe Amino acid uptake by the Japanese spiny lobster *Panulirus japonicus* phyllosoma larvae. World Aquaculture 2008 (Busan, Korea)
- Fujita, D.: Early life stages of macroalgae in various types of barrens in central to northern Japan, Asian Pacific Phycological Forum
- Fujita, D., Ishii, R., Kanyama, T., Abe, M. and Hasegawa, M.: Patchy and zoned urchin barrens dominated by *Diadema setosum* on central Pacific coasts of Honshu, Japan, Internatinal Echinoderm Congress
- 藤田大介・横田淳：千葉県館山市坂田地先のヒジキに対するアイゴの食害 日本藻類学会  
貞松大樹・鈴木平吉・能登谷正浩・藤田大介：千葉県沖の島地先における葉状部を切除したアラメの再生 日本藻類学会
- 山田蘭・岩崎翔平・完山暢・能登谷正浩・藤田大介：千葉県沖ノ島地先の磯焼け状パッチ内で回復させた藻場における磯焼けの再進行, 日本藻類学会
- K. Nagasawa, Y. Takeuchi, M. Miwa, K. Higuchi, T. Morita, T. Mitsuboshi, Y. Miyaki, K. Kadomura, and G. Yoshizaki: cDNA CLONING AND EXPRESSION ANALYSIS OF A VASA-LIKE GENE IN PACIFIC BLUEFIN TUNA (BtVLG). Sex Determination and Gametogenesis in Fish: Current Status and Future Directions. Honolulu, USA.
- K. Tsunemoto, K. Higuchi, R. Yazawa, M. Miwa, Y. Takeuchi, G. Yoshizaki: Production of Giant croaker sperm from Nibe croaker broodstock by spermatogonial transplantation. 5th World Fisheries Congress, Yokohama, Japan.
- Y Takeuchi, K Higuchi, K Tsunemoto, R Yazawa, M Miwa, G Yoshizaki: Allogenic and xenogenic transplantation of spermatogonia in marine teleost. 5th World Fisheries Congress, Yokohama, Japan.
- G Yoshizaki, T Okutsu, Y Takeuchi: Germ cell transplantation in fish: Production of trout offspring from salmon parents. 5th World Fisheries Congress, Yokohama, Japan.
- 谷田部誉史・樋口健太郎・山本洋嗣・竹内裕・吉崎悟朗：hCGによるニベの人為催熟過程におけるDHP追加投与が排卵誘起および卵質改善に及ぼす影響。平成20年度日本水産学会春季大会 静岡県清水市。
- 樋口健太郎・三輪美砂子・竹内裕・吉崎悟朗：精原細胞の異種間移植技術の海産魚への応用(Ⅱ)～宿主サイズの最適化と移植後のドナー生殖細胞の追跡～。平成20年度日本水産

学会春季大会 静岡県清水市.

竹内裕・樋口健太郎・常本和伸・矢澤良輔・三輪美砂子・吉崎悟朗：精原細胞の異種間移植による代理親魚技法の開発. 第11回マリンバイオテクノロジー学会大会 京都.

竹内裕・吉崎悟朗：海洋深層水と借り腹養殖技術を組み合わせると何が出来るか？ 第12回海洋深層水利用学会全国大会特別シンポジウム 東京.

平成 21 年度

伊藤未来・荒川久幸：アラメ遊走子の着生への粒子の粒径の影響. 日仏海洋学会

Ebusawa, S., S. Segawa, K. Tsuchiya: Feeding behavior and oxygen consumption of *Octopus ocellatus* preying on short-neck clam *Ruditapes philippinarum*. Cephalopod International Advisory Council Symposium 2009

Kaifu K., T. Akamatsu, S. Segawa: Properties of underwater sound detection in cephalopod. Cephalopod International Advisory Council Symposium 2009

井上優紀、土屋光太郎、瀬川 進： イガムシロ属 *Hebra* について. 日本貝類学会

海老澤慎一、瀬川 進、土屋光太郎： イイダコのアサリに対する捕食行動と酸素消費量. イカ類資源研究会議

木原聡美・清水庄太・須之部友基： 館山湾に生息するベラ科オハグロベラ *Pteragogus aurigarius* の雌の繁殖戦術. 第28回日本動物行動学会大会

清水庄太・木原聡美・須之部友基： 館山湾に生息するオハグロベラ雄における繁殖行動の多様性について. 第28回日本動物行動学会大会

境田沙知子・須之部友基： セレベスゴチの繁殖生態について. 第28回日本動物行動学会大会

渡井幹雄・須之部友基： 潮汐周期とベラ科魚類の群れ産卵時刻. 第28回日本動物行動学会大会

青山弘・孫日斌・田中次郎： アミジクグサ科シマオオギ連三種における仮根形態について. 日本藻類学会第33回大会(沖縄県西原町)

高原涼・田中次郎： 異なる環境下に生育する紅藻ピリヒバの光合成特性の季節変化. 日本藻類学会第33回大会(沖縄県西原町)

Ishii, O., Idei, M., Suzuki, H., Nagumo, T. & Tanaka, J. Morphology and sexual reproduction of marine *Caloneis* species. The 9th International Phycological Congress 2009 (Tokyo, Japan)

石井織葉・鈴木秀和・南雲 保・田中次郎： *Pinnularia* 属および *Caloneis* 属の殻形態の比較. 日本珪藻学会第29回研究集会(山形県山形市)

Y. Usami, M. Yokota, C.A. Strussmann, S. Watanabe Geographical variation of mtDNA and larval development in relation to habitat utilization by the freshwater palaemonid prawn, *Palaemon paucidens* (Abstracts pp. 54) . The Crustacean Society

Summer Meeting and 47th Annual Meeting of the Carcinological Society of Japan (Tokyo, Japan)

R. Watanabe, K. Hamasaki, C.A. Strussmann, M. Yokota, S. Watanabe Effectiveness of lipofuscin as an age marker in the xanthid crab *Leptodius exaratus* (Abstracts pp. 77). The Crustacean Society Summer Meeting and 47th Annual Meeting of the Carcinological Society of Japan (Tokyo, Japan)

渡辺梨里・藤田大介：海洋深層水等各種培養液における小型無節サンゴモの生長，海洋深層水利用学会

小林美樹・藤田大介：海洋深層水を用いた紅藻ミリンの体色改善の可能性，海洋深層水利用学会

Fujita, D., Sadamatsu, T., Yokota, J., Watanabe, R., and Koike, Y. Browsing on *Eisenia*, *Sargassum* and *Zostera* beds by herbivorous fish at Tateyama Coast in the Boso Peninsula, Pacific Coast, Japan, International Seaweed Symposium

Watanabe, R. and Fujita, D.: Can a coralline alga survive in acidified seawater if not overgrown?, International Seaweed Symposium

細矢玲奈・鈴木平吉・伊豫田紀子・藤田大介：表面形状の異なるカキ殻ブロックにおける海藻植生の遷移，日本藻類学会

藤田大介・渡辺梨里：海洋深層水で培養したモカサ属1種の生長と成熟，日本藻類学会

藤田大介・藤原一恵：室内培養における紅藻フサノリの最適培養条件，日本藻類学会

藤田大介・小林美樹：千葉県沖ノ島産紅藻ミリンの黄化と栄養塩添加による退色改善，日本藻類学会

藤田大介・岩館教博・小川晃弘・井上大輔・細矢玲奈：館山市沖ノ島における紅藻ミリンの世代別海中育成と近年の現象について．日本藻類学会

樋口健太郎・竹内裕・三輪美砂子・吉崎悟朗：精原細胞移植技術の海産魚への応用 ～ニベ宿主へ移植したブリ精原細胞の宿主生殖腺への生着とその挙動～．平成21年度日本水産学会春季大会 品川．

長澤一衛・竹内裕・森田哲朗・三星亨・吉崎悟朗：非遺伝子導入個体からの精原細胞の単離法-3 クロマグロ CD205 遺伝子は精原細胞で特異的に発現する．平成21年度日本水産学会春季大会 品川．

矢澤良輔・竹内裕・玄浩一郎・森田哲朗・三星亨：代理親魚技術を用いたクロマグロ種苗生産法の構築（Ⅱ）～移植用ドナーに用いるクロマグロ精巢の成熟段階の検討～．平成21年度日本水産学会春季大会 品川．

矢澤良輔・竹内裕・樋口健太郎・谷田部誉史・吉崎悟朗：代理親魚技術を用いたクロマグロ種苗生産法の構築（Ⅰ）～マサバ仔魚を宿主として用いた精原細胞移植技術の開発～．平成21年度日本水産学会春季大会 品川．

木瀬和芳・矢澤良輔・竹内裕・吉崎悟朗：代理親魚技術を用いたクロマグロ種苗生産法の

構築 (Ⅲ) フローサイトメーターを用いたクロマグロ精原細胞の濃縮. 平成 21 年度日本水産学会春季大会 品川.

壁谷尚樹・山本洋嗣・川村貴一・竹内裕・吉崎悟朗：ニベ (Nibe mitsukurii) への外来遺

伝子導入と遺伝子導入個体の系統化. 平成 21 年度日本水産学会春季大会 品川.

大橋宏史・竹内裕・吉崎悟朗：クロマグロ生殖腺体細胞由来増殖因子 (GSDF) は A 型精原細胞を取り囲むセルトリ細胞で特異的に発現する. 第 101 回日本繁殖生物学会大会 福岡.  
竹内裕：「地域で働く：館山湾で働く」. 千葉県立館山総合高校社会人講話 千葉.

竹内裕：代理親魚養成技術の海産魚への応用. 長崎県マリンバイオクラスター形成事業. 長崎.

吉崎悟朗・竹内裕・矢澤良輔：生殖細胞移植技術を用いた魚類の代理親魚養殖：サバからマグロは生まれるか？ 第 12 回 マリンバイオテクノロジー学会大会 東京.

竹内裕：代理親養殖によるクロマグロ種苗生産の試み. 平成 21 年度日本水産工学会春季シンポジウム 神奈川.

竹内裕：発生工学的アプローチによる生殖細胞のコントロール. 平成 21 年度日本水産学会春季大会シンポジウム 東京.

## (5) 報告書

### ● 平成 20 年度

藤田大介：スラグ炭酸固化体による生物付着能力の高度利用 平成 20 年度報告書

竹内裕：魚類生殖細胞の異種間移植技術の海産魚への展開～低エネルギーかつ高効率で大  
型海産魚の種苗生産を可能にする技術の開発～. 旭硝子財団助成研究成果報告. 2008:  
p. 30 および CD-ROM.

## 3. 社会貢献

### (1) 小学校への学習指導

西岬小学校 (館山市), 長尾小学校 (南房総市), 白浜小学校, 岩井学園 (東京)

### (2) 高校との SPP 事業

千葉県立千葉高校, 群馬県立富岡高校

### (3) その他

JST 講習会 (平成 21 年 7 月 18 日)

(4) アワビ放流事業

		20年度	21年度
クロアワビ	個数	1000	3000
	重量(Kg)	15	25
メガイアワビ	個数	3500	3000
	重量(Kg)	33	33
マダカアワビ	個数	400	500
	重量(Kg)	12	13
トコブシ	個数	0	
	重量(Kg)	0	

放流場所： 西岬漁協管内，館山船形漁協管内